

2015年2月6日  
人間・環境学会事務局

## 第106回研究会

### 建築社会研究「これからの公共施設が備えるべき公共空間としての要件を問う ：公共図書館を事例に」

超少子高齢化や人口減少という、これまでわが国が経験していない社会変化に応じた生活環境の姿とその実現方法に関する議論が各分野で進んでいる。その中で、公共サービスの提供拠点である公共施設の再編は、今後の持続的な生活環境の再構築における中心的課題の一つであり、各地で行政、市民、専門家を巻き込んで議論が進んでいる。

この公共施設の再編に関する議論の背景には、自治体の税収の減少や市町村合併による広大化した管轄区域への公共サービスの提供方法の再構築が喫緊の課題になっていることがある。またその議論では、公共施設の総量や立地、施設のプログラム、運営方法等が検討課題となっている。しかし、現状を見ると、公共施設の再編に伴う施設のプログラム、そしてそこで期待されるこれからの公共空間としての要件を問う議論や試みは、まだ途に着いた段階にあると言える。経済成長時代に構築されたいわゆる「ビルディング・タイプ」の再編が求められているのであるとすれば、再編する際の今日的論点は何かについて、我々はまず確認、共有しなくてはならないだろう。

そこで、本委員会が今回開催する研究会では、比較的身近で多様な属性の市民の来訪を受け入れる空間であり、同時に地域社会の課題やニーズに応じて再整備された先進事例が国内外で確認できる公共図書館を取り上げ、特に今日の公共空間として機能するために備えるべき要件の議論を行いたい。建築計画、まちづくり、社会学の研究者・実践者からそれぞれの分野における近年の話題や取り組みを講演いただいた後、公共空間としての公立図書館の昨今の状況や今日的課題、今後の展開可能性を討論し、さらに広くはこれからの公共施設が公共空間として備えるべき要件を展望したい。

#### 記

主催：人間・環境学会 建築社会研究委員会

□日時：2015年3月20日（金）17時～20時

□場所：名古屋大学東京オフィス会議室

東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル11階 1168区

[http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/ru/tokyo\\_office/detail/0000077.html](http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/ru/tokyo_office/detail/0000077.html)

□参加費：会員・学生1,000円，一般2,000円

□ プログラム

司会 : 森 傑

北海道大学 / 人間・環境学会 建築社会研究委員会委員長

話題提供

① 「公共空間としての図書館 — 近年の国内外の事例から」

: 小松 尚

名古屋大学大学院環境学研究科 / 人間・環境学会 建築社会研究委員会委員

② 「図書館が地域に果たす役割とその可能性 — 小布施まちとしょテラスの事例から—」

: 大宮 透

慶応義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科

小布施町ソーシャルデザインセンター主任研究員

③ 「地域社会における共同性と公共性」

: 浅川達人氏

明治学院大学社会学部社会学科

スケジュール

16時30分	受け付け開始
17時	開会挨拶と主旨説明
17時10分	話題提供 (3名×30分)
18時40分	休憩 (10分)
18時50分	討論
20時	閉会

以上

■ アクセスマップ : 名古屋大学東京オフィス会議室

東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 三菱ビル11階 1168区



※ 3月13日（金） 夕方5時までに FAXまたはE-MAILでお申し込み下さい。

事務局 FAX : 06-6879-7641

E-MAIL : [mera@arch.eng.osaka-u.ac.jp](mailto:mera@arch.eng.osaka-u.ac.jp)

## 人間・環境学会第106回研究会 参加申込書

人間・環境学会第106回研究会に 参加します（ 名）

御名前： \_\_\_\_\_

御所属： \_\_\_\_\_

TEL： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_